『新年のごあいさつ』

千葉市身体障害者福祉会　会長　高山功一

会員、ご家族の皆様、明けましてお目出とう御座居ます。新しい年の始めをご家族お揃いで迎えられましたお慶びを心からお祝い申し上げます。また、はからずも体調をくずされている方はくれぐれもご自愛され一日も早い回復を祈ります。

さて、昨年も福祉会の仲間が各分野で大活躍をされました、永年に渡り仲間のために我が身の障害を乗り越え頑張られた仲間が表彰されました。

五月二六日、鳥井章組織委員長が第六十回日身連福祉大会みやざき県大会で日身連会長表彰、十一月十一日、江口巌理事が千葉日報(社会福祉賞)社長賞、十一月十三日、江野澤清孝副会長が千葉県社協会長賞、十一月十四日、杉野美貞理事が千葉市社協会長表彰、そして十二月三日、小倉春夫副会長が厚生労働大臣表彰を受賞、その後皇居にて天皇・皇后拝謁されお言葉をいただきました。

スポーツ部門でも八月三〇日の政令市北九州大会で江野澤監督と六名の選手が大活躍をされ、第十五回全国障害者スポーツ大会(紀の国わかやま大会)でも仲森・布施・熊野の三選手が参加出場、全国の仲間と交流された。

障害者施策では差別解消法施行で何が差別に当たり何が配慮なのかを真剣に取り組んでいます。又千葉市では自治体初の「エスカレーター安全利用」啓発に取り組んでいます。

我々障害者も社会的責任を果たし更なる前進に全力を尽し魅力ある福祉会を一緒に築きましょう。

会員、ご家族皆様のご多幸を祈念し念頭のご挨拶といたします。

新年おめでとうございます

顧問
三瓶輝枝

会長
高山功一

副会長
小嶋勇明
小倉春夫
江野澤清孝

総務委員長
高山功一

総轄委員長
江野澤清孝

財務委員長
小倉春夫

組織委員長
鳥井章

体育委員長
小嶋勇明

旅行委員長
砂原時男

広報委員長
飛嶋信行

結婚相談員
宮武陽子

〈会計監事〉
中村徹
十川政枝

〈理事〉
◎花見川区
花島桂三
石川栄子

◎稲毛区
江口巌

◎中央区
卯田孝子
松岡多喜子
永井政枝

◎若葉区
宇山和男
嶌田みつえ
高田有利
東茂昭

◎緑区
林四郎

◎美浜区
小野昭光
杉野美貞
佐川京子

〈評議員〉
◎花見川区
山崎明子
坂尾幸子

◎稲毛区
鈴木弘治
永田恒男
高橋春雄

◎中央区
末武儀一
谷口勝信
畑中昌子
武藤雅子
田中義雄
片岡文江

◎若葉区
茂木雪子
根本公子
荻原弘子

◎緑区
佐久間剛
村田重子

◎美浜区
荒川信輝
土屋えい子
佐藤加代子

第十七回 障害者福祉大会

第十七回「千葉市障害者福祉大会」は平成二十七年十二月五日(土)九時四十分から「ハーモニープラザ」で盛大に開催されました。

オープニングでは高山功一実行委員長の開会宣言、熊谷俊人千葉市長の主催者挨拶、森山和博千葉市議会保健消防委員長のご来賓祝辞に続き、来賓のご紹介。又、各障害団体の活動の紹介がありました。

続いて平成二十七年度の市政功労表彰受賞者の小出常子さんが紹介されました。

体験作文・ポスター最優秀者表彰では熊谷市長が表彰状を手渡されました。

最優秀ポスターをバックに心に響く体験作文の発表の後、和歌山県で開催された「第十五回全国障害者スポーツ大会」千葉市代表選手の紹介があり、当会からは仲森昌子さん、熊野裕さん、布施節さんが参加されました。

体験・実践発表ではオストミー協会から渡辺博一による「オストメイトってご存知ですか」と題して体験を発表されました。

又、演奏・演技発表では「りんごの家」によるエアロビクスパフォーマンスを発表。

講演会はお天気キャスターの森田正光さんが「テレビで言えない天気の話」と題し約一時間お話下さいました。

愉快なお話に会場は笑いに包まれ皆さん大満足でした。

早朝より準備の関係各位・当会役員の皆様にお礼申し上げます。

(広報委員会)

千葉市身体障害者福祉会 年末評議委員会

平成二十七年度の年末評議委員会は十二月六日(日)に開催されました。

砂原理事の司会により開会、小倉副会長の開花のことばに続き、高山会長より参加役員に一年間の労苦に対して労いの言葉と更に来年の協力が要請されました。

議長に江野澤清孝氏を指名、挨拶の後、評議員総数四十二名中、出席者三十五名、委任状七名で評議員会の成立を報告。

役員変更は評議員、森田栄八・岩淵俊一さんが退任されました。

高山会長より、二十七年度の事業・行事の報告、小倉財務委員長より会計の現況報告があり全て承認されました。

その他では三瓶輝枝さんの入会、及び特別顧問への就任の討議、承認。また広報への評議員までの会員の氏名の開示討議及び承認が話し合われました。

第二部の懇親会は場所を移動して食事とカラオケを楽しみ、来年度が更に良い年であることを祈りお開きとなりました。

(広報委員会)

「全スポ和歌山大会」報告

第十五回全国障害者スポーツ大会・紀の国わかやま大会が「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに十月二十四日(土)～二十六日(月)の三日間開催され、千葉市から個人競技十九名、車椅子バスケ八名、団長他役員総勢五〇名が「笑顔で出発・笑顔で帰葉」を合言葉に参加。

福祉会からは一般卓球に仲森昌子、フライングディスクに布施節、熊野裕三選手が参加した。

三選手は練習の成果を出すべくメダル獲得を目指し、仲森選手は卓球で金を、屋外競技のFDでは強風に見舞われ実力発揮出来なく二名共に四位となり、メダルに手が届きませんでしたがベストを尽くした満足感の笑顔が素的でした。

千葉市選手団としては金九個、銀九個、銅六個を獲得しました。来年は岩手県大会です。

岩手に向けてゴーゴー!!

(体育委員会)